

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

## 11. 消化管、肝胆膵の疾患

### 文献

高橋久雄, 丸山勝也. アルコール性肝障害に対する漢方薬の臨床. *医学のあゆみ* 1993; 167: 811-4. [MOL](#), [MOL-Lib](#)

### 1. 目的

小柴胡湯と小柴胡湯合茵陳五苓散のアルコール性肝障害に対する有効性の評価

### 2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

### 3. セッティング

1 総合病院

### 4. 参加者

入院加療中のアルコール依存症患者 49 名

### 5. 介入

Arm 1: 小柴胡湯群、ツムラ小柴胡湯エキス顆粒 7.5g/日、24 名。各群 3 ヶ月間投与

Arm 2: 小柴胡湯合茵陳五苓散群、ツムラ小柴胡湯エキス顆粒、ツムラ茵陳五苓散エキス顆粒各 7.5g/日、25 名

### 6. 主なアウトカム評価項目

自覚症状 (食思不振、嘔気、倦怠感など)、肝機能成績

### 7. 主な結果

自覚症状は両群とも改善し有意差はなかった。肝機能検査では、両群とも改善がみられ、ALP は茵陳五苓散合方群のほうが低下していた。

### 8. 結論

小柴胡湯ならびに小柴胡湯合茵陳五苓散はアルコール性肝障害の自覚症状と肝機能異常を改善する。

### 9. 漢方的考察

なし

### 10. 論文中の安全性評価

記載なし

### 11. Abstractor のコメント

複数の漢方薬での RCT を施行した点で意義のある論文である。ただ、いわゆるコントロール群がないこと、入院中のため断酒の効果があること (著者も指摘している) から臨床的意義は限定されると思われる。

### 12. Abstractor and date

小暮敏明 2008.8.8, 2010.6.1